



## KKT 杯バンテリンレディスオープン

日程：4月13日～4月15日

会場：熊本空港カントリークラブ（熊本県）

1st round：

「ちょっと今は傷ついています」。いつもはこやかな名手である申ジエプロも、悔しさに顔をゆがめた。「先週痛めた足首はだいぶ良くなってはいるのですが、そこに気を奪われてしまって安定したプレーができませんでした」。難コース・熊本空港カントリークラブで2つのバーディを奪うも、7つのボギーを叩き5オーバー。首位とは8打差の73位タイと大きく出遅れる初日となってしまった。何よりも悔しいのは、熊本の人たちに良いプレーを見せられなかったこと。「2年前にここで地震があり、私も被災してとても怖い思いをしました。だから、ここでは素晴らしいプレーをしたかったのにできませんでした。それが残念です」。そうして出てきたのが冒頭の言葉である。自分のプレーの歯がゆさ以上の悔しさがそこにはあった。「明日はなんとか良い姿を見せられるように頑張りたいと思います」と話すと、足早に練習場へと向かっていった。

2nd round：

ミスを次に引きずらない。そんな強者のお手本のような一日だった。まるで前日とは別人のようにバーディを量産。8バーディ・3ボギーの「67」とスコアを5つ伸ばし、首位と4打差のトータルオープンパー・12位タイに浮上。カットラインの下から一気に優勝圏内へと躍り出た。その秘訣の一つが心持ちを変えたこと。「最終日までプレーはある。だから、1打でもスコアを減らせるように、最後までとにかく諦めないようにともう一度気持ちを引き締めました」。そしてもう一つ、ショットのリズムが良かったこと。先週からの不調を払拭するため、いつも以上に練習に打ち込んだ成果でもあった。「今日の成績で、改めて練習は嘘つかない、と思いました」。練習日からドライビングレンジで何度も何度もボールを“おかわり”する姿を見ていただけに、言葉の重みが違う。また、この日は2017年の「富士通レディス」以来となるインスタートに、「10番から出るのは本当に久しぶりでしたね。それでもギャラリーさんが付いてくれて嬉しかったのですが」と苦笑い。「明日はたぶんアウトから出られると思いますので楽しみです」。やっぱりゴルフは正規の順序で回るほうが気持ち良い。気になる足首の痛みはまだ残るが、「みなさんが心配してくださるから、きっとすぐに良くなると思いますよ」と笑い飛ばした。

Final round：

ボギーフリーのラウンドも追いつけなかった。この日、2人しかいないノーボギーで2バーディ。それでも追撃するにはバーディが足りなかった。「昨日ショットがかなり良くて、たくさんバーディを獲れました。だから今日は優勝のチャンスがあると思ってスタートしました。そのショットは今日も良くて、たくさんチャンスにつきました。でもパターが入りませんでしたね。難しいピンポジションでも最後まで攻めて行きましたが…。仕方ないといった表情で一言。「私の日では無かったですね」。それでも、この日のプレーは2年前の地震で被災した方々を勇気づけたに違いない。「後半は天気良くなったこともあって、たくさんギャラリーの方がいてとても楽しくプレーできました」。最後まで攻め続ける姿勢。アンラッキーがあってもしのいでいく姿は、熊本の人々の目に焼きついたことだろう。何よりも、73位タイだった順位は終わってみれば8位タイ。2日間で65ものジャンプアップを果たせたのは、もちろん諦めない気持ちがあったから。来週は欠場するため、次戦は静岡県三島市で行われるサイバーエージェントレディス。「韓国でしっかりと練習して帰ってきます！」。

順位	選手名	スコア	1R	2R	FR
1	比嘉 真美子	210	71	73	66
2	成田 美寿々	211	71	69	71
3T	ささき しょうこ	212	77	67	68
3T	権藤 可恋	212	71	70	71
5T	葭葉 ルミ	213	69	73	71
5T	アビニヤ	213	71	71	71
5T	藤田 さいき	213	71	69	73
8T	申 ジエ	214	77	67	70
8T	勝 みなみ	214	74	72	68
8T	大城 さつき	214	71	74	69